

# One for all, All for one

第17号  
平成30年12月7日発行

長いと思っていた年内の登校日も残すところあとわずか。まとめの時期に入りました。冷え込みも厳しくなり、忙しさの中で体調管理が疎かにならないよう、声掛けをしていきます。

宮城県の学校には「志教育」という教育があります。「小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育（「みやぎの志教育プラン」より）」であり、本校でも推進しています。

親の目には子供は人間として未熟に映り、実際に失敗や間違いも多くしてしまうことでしょう。親が責任を取らなくてはいけない場面もあることで、親主導で物事を考えてしまうこともあるかもしれません。とは言っても、子供も1人の人間であり、子供の人生は子供だけのものです。命に関わるものや、取り返しのつかないものの場合は親の介入は絶対に必要です。しかし、失敗が成長の糧になるもの、やり直しがきくものなどの場合は、あえて子供に自己決定の機会を与え、もし失敗してしまったとしてもその努力を認め、励ましてあげることが大切です。失敗が次の挑戦につながるきっかけになればよいですね。

## 【ネット依存について】

寒くて友達と会う機会も減ってしまう冬期間は、スマートフォンやパソコンを使って過ごす子供も増えることでしょう。調べたり、活用したりする力の高まりが期待できる半面、使い方を誤ると大きな問題を引き起こします。例えば、日常的にインターネットに触れていないと落ち着かなくなる状態、いわゆる「ネット依存」になることがあります。子供のネット依存を防止するために大人が注意すべきなのは、依存の原因を取り除いてあげることです。以下の点を参考にしながら、家庭でインターネットの使い方について話し合いを行い、未然防止に努めていきましょう。そして、家族で過ごす時間を大事にしながら、インターネット上では味わうことのできない、心身の触れ合いも大切にしてもらえればと思っています。



| 約束事に関すること                                                                                                                         | 心理的な原因に関すること                                                                                                        | 家族と共に、心掛けること                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンやパソコンは常にリビングに置く。</li><li>・使用してもよい時間を決める。</li><li>・使用した検索サイトや時間の履歴をチェックする。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・現在置かれている環境への不満はないか。</li><li>・学級や部活動等で孤立していないか。</li></ul> など、依存の背景となる事情を聴き取る。 | <ul style="list-style-type: none"><li>・家族との会話時間を長く持っているか。</li><li>・家族と同じ体験をしているか。</li><li>・家族できちんとあいさつをし合っているか。</li></ul> |

## 【学校生活のQ & Aについて】

宮城県から出されている保護者向け資料から、学校生活のQ & Aを紹介します。

Q, 月に1, 2回必ず学校を休みます。不登校なののでしょうか? どう対応したらよいのでしょうか?

A, どのような時に学校を休むのでしょうか。例えば、特定の教科のある時、友達とトラブルがあった時、先生に何か言われた時など、どんな時に休みたくなるのかを振り返りながら、お子さんの気持ちに寄り添ってみてください。そして、登校できた日には、休みたい気持ちを登校する気持ちに、自分で切り替えられたことをほめてあげましょう。お子さんにとっては月1, 2回の休みを取ることで、心の元気を回復させるために必要な時間なのかもしれません。いずれにせよ、学校の担当者と連絡を取り合い、必要に応じてスクールカウンセラーの教育相談なども活用しながら、学校と連携して対応していくことが大切です。

宮城県教育委員会 宮城県PTA連合会「保護者向け資料『充実した中学校生活に向けて-子どもとの関わり方に困ったときのために-』」より

## 【スクールカウンセラー（SC）の来校日】

12月のスクールカウンセラー（SC）の来校日は、下記のとおりとなっております。相談の希望がありましたら、「教育相談担当：大沼」までご連絡・ご相談ください。

### 12月のSC来校日

13日（木）、20日（木）

※利用できる時間帯 3～6校時および放課後の17時まで

## 【今後の主な予定（1学年関係）】

12月14日（金）進路ガイダンス③ 「第2回進路希望調査用紙」配布予定

19日（水）通知票配布

20日（木）規程説明会

21日（金）全校集会、賞状伝達式、防災訓練②

24日（月）冬季休業日（～1月7日）

25日（火）冬季課外講習（～12月27日）

※対象は、4年生大学・短大・看護学校に進学希望の生徒および公務員就職を希望している生徒になります。参加を希望される際は、進路指導部より配布される申込用紙を担任へご提出ください。

## 【学年主任として思うこと】

自分に自信がない人間は、どこまでできるのか等、不安を抱くことがよくあると言われます。しかし、私自身がそうであったように、人は多くの成功体験や失敗を繰り返す機会を得ることで、実体験を根拠とする自信ほど、確かなものはないことを気付くはずです。生きていく中で「あの場面では今よりも難しい事態が起きたが、それらを何とか解決することができた。だから、今回も乗り越えられるだろう」という認識を持つことは、多くあります。この「だから」と思えることが自信の根拠となり、自分自身の成長につながると思います。今後子供たちは大人に成長するにつれて、様々な困難に遭遇すると思いますが、いつまでも自分で体験することを大切に、根拠のある自信を1つでも多く得る人生を歩んで行って欲しいと思います。

※保護者の皆様、何かご不明な点やご心配なことなどあれば、遠慮せずにご連絡下さい。